

79杯目 こみゆにTeaたいむ

地域資源を活かそう



行政と民間それぞれの役割を意見交換しました
協働のまちづくりフォーラム in 二戸(主催岩手県、共催二戸市)は11月26日、シビックセンターで開かれました。～復興、そして未来へ～と題して行われたフォーラムには地域づくり団体やNPOなど約100人が参加し、地域資源を活かしたまちづくりについて学びました。

熊本県大阪事務所の本坂道所長が「地域をみんなで元気にする仕組み～くまモン」パワーの秘密～と題して基調講演。くまモンは新幹線が鹿児島まで到着することにより、熊本が通過駅になってしまうのではという危機感から生まれました。経済効果は300億円とも言われます。地元の人から認められるもの、どこよりもここだけものをといたメッセージは地域づくり運動に通じるものでした。

続いていわてまち焼うどん連合歓隊、久慈まめぶ部屋、(株)浄法寺漆産業がパネルディスカッションし、地域資源を活かした今後のまちづくりについて意見交換を行いました。

フォーラム後には交流会も開催され、漆器に盛り付けられたまめぶ汁や焼きうどんに舌鼓を打ちました。



浄法寺漆にまめぶを盛り付け

地域おこし協力隊企画・二戸の宝を訪ねる旅

「手作りのむら・門崎で冬の里山体験

～スノートレッキングと豆腐づくり～(暖かい格好でご参加ください)

日時 1月18日(土) 午前8時40分～午後3時30分

集合場所 二戸駅西口 募集人数 先着20人

参加費 4,800円(バス代、ガイド、昼食代、保険料含む)

問い合わせ、申込先 銀河鉄道観光(☎019-654-1489)

【地域おこし協力隊ブログ随時更新中!】

URL <http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/>



今月は野澤優介隊員が
お届けします

—地域おこし協力隊通信—

十かき目「川又のお宝発見」

協力隊として2回目のお正月を迎えました。今年も昨年よりもさらに躍進しようという想いを胸に張り切って活動していきます。

具体的な活動としては、今年度も残すところ2回となったエコーツアーの実施です。今月は門崎を舞台にこの時期ならではの里山の宝に触れ、二戸を楽しんでもらうツアーを企画しました。最後まで安全なツアーの実施に努めていきます。

また、一昨年から本格的に始動した浄法寺川又地区での宝さがしを継続し、さらにそれらの宝の活用術を地域と一緒になっ

て考えることです。



川又地区の宝をヒアリングしました

て考えることです。

私と川又地区との出会いは、

協力隊着任時に『浄法寺地区観光マップ』を見たことがきっかけでした。マップには浄法寺町北部に関する地域情報が載っており、不思議とそこに疑問が

浮かびました。

川又地区を訪ね、地元の人に「すみません。この辺りの地域について教えてください」と質問したところ、「天台寺への昔道」というキーワードが出てきました。すぐに浄法寺歴史民俗資料館に向かいました。すると、東北における天台寺の重要性やそれに伴う周辺地域の文化についていろいろなお話が見えてきました。

地域の人たちと共にワークショップを重ねていく中で、地区には八太郎や弘法大師、そしてキツネの伝説があったり、神様と共に生活する文化について

の話や天台寺へ向かう人々との交流の中での面白い話があったりしました。笹やぶをかき分けてでも見たい石碑があったので、地域の人のお願いで川又ツアーも実施しました。

私は川又のお宝が明らかになり、歴史や文化が凝縮された煙草があがったと考えています。次は多くの人にその煙をかいでいただけるように上手に扇いでいきたいものです。

(地域おこし協力隊 野澤優介)